

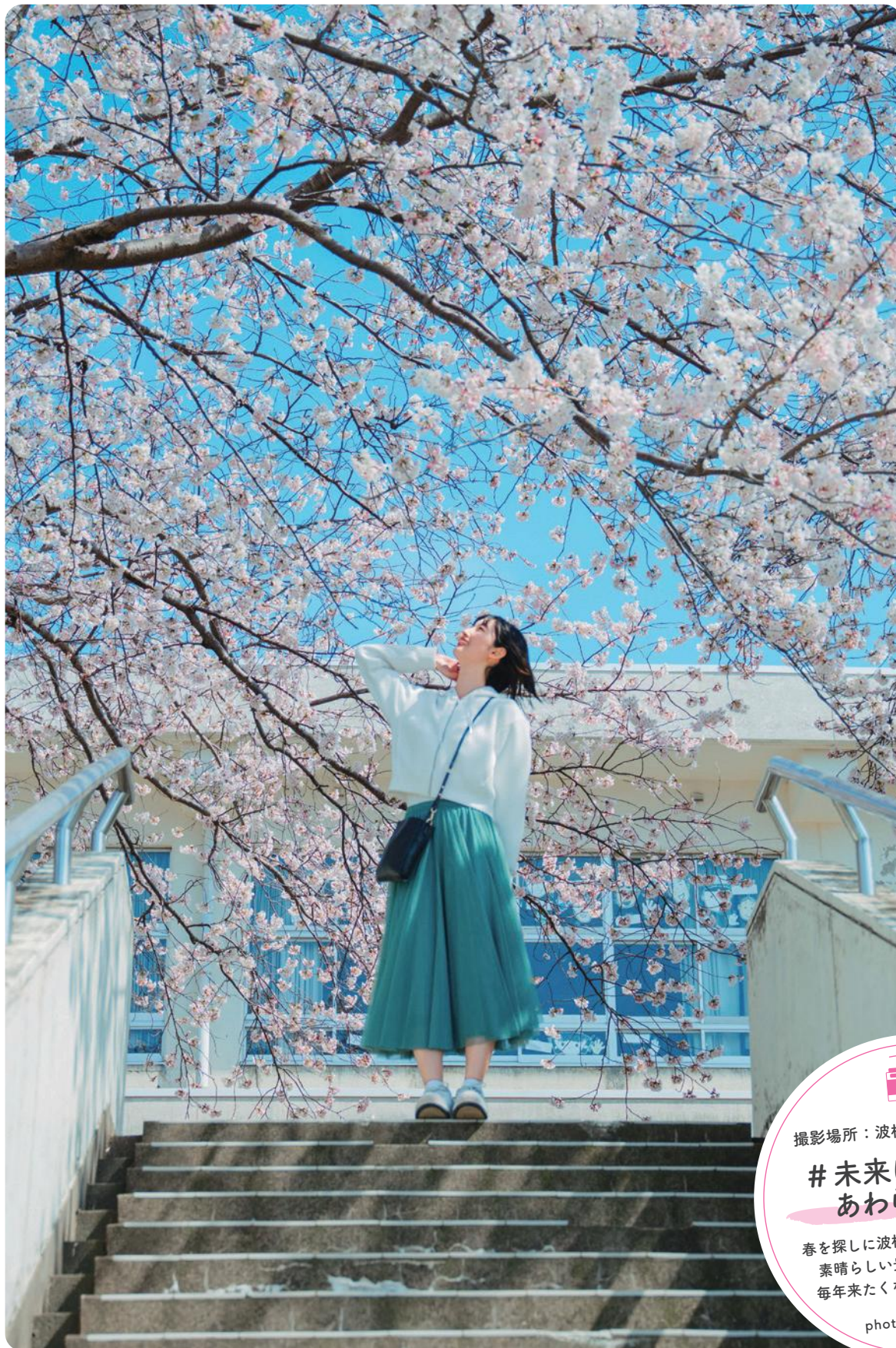
咲き誇る、あわらの未来

あわらし議会だより

vol.88

2026 spring

3月定例会



特集

2p
議会を傍聴してみよう

裏表紙

開催！
議員と語ろう会



撮影場所：波松小学校(休校中)

未来に残したい
あわらの風景

春を探しに波松へ。坂を登ると現れる
素晴らしい景色に心奪われます。
毎年来たくなる、特別な場所です。

photo by tomosaki

特集

HELLO!
AWARA GIKAI

あわら市議会を詳しく
ご紹介します!

新発見!

議会をちょっと覗いてみませんか?

あなたの暮らしのことが決まる場所、実は誰でも気軽に入れます

● いろいろな方に
子育て、教育、農業、観光など、自分の興味があるテーマについて一歩踏み込んだ議論を聞きたい

● 議会活性化・広報の取り組みを知りたい

「委員会」
教育、福祉、産業など分野ごとに少人数で詳しく話し合う場です。

気になるテーマを深く知るなら…

● いろいろな方に
あわら市全体の大きな方針を知りたい
市長の考えや、議員の質問を直接聞いてみたい

議員全員が集まるメインの会議です。
市議会の最終的な意思決定を行います。

「本会議」

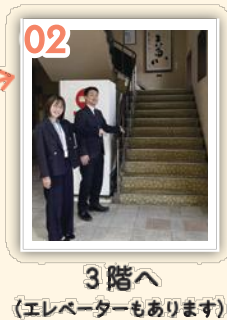
市全体像を知るなら…

実は、
見たい内容に合わせて
2つの会議から
選べます!



議会傍聴の流れ

参考にしてください!



よくある質問

01 傍聴できる定員は何名?

本会議：27人
委員会：3人
※全て先着順となります



02 発言したり質問したりできる?

できません。お静かに
ご傍聴をお願いします。



03 途中で出入りできる?

可能です。静かに出入りを
お願いします。



04 写真や動画撮影はできる?

できません。ご遠慮ください。
(許可がある場合を除く)

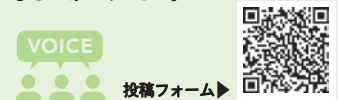


本会議をライブ配信しています

パソコン、スマートフォン、タブレットで本会議の様子を
みてみませんか?過去の映像なども配信しています。



ご意見・ご感想をお寄せください
市民のみなさんに親しまれる紙面を目指
しています。紙面についてのご意見・ご感
想をお寄せください。



6月定例会のお知らせ

会期 6月1日(月)~6月23日(火)

日	月	火	水	木	金	土
5/31	6/1	2	3	4	5	6
議員と 懇ろう会	本会議 予算決算特別委員会 広報特別委員会					
7	8	9	10	11	12	13
				本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	議会活性化 特別委員会
14	15	16	17	18	19	20
	総務厚生 常任委員会	産業建設教育 常任委員会			防災・減災対策 特別委員会	
21	22	23	24	25	26	27
	議員と 懇ろう会 議会運営委員会	本会議 人口減少対策 特別委員会				

※日程は都合により変更されることがあります
※傍聴をご希望の方は議会事務局までお問い合わせください

一般質問

3月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。
1人25分の持ち時間の中で、さまざまな議論が行われました。
ここでは、そのやりとりの一部を掲載しています。

しま だ とし や
島田 俊哉 議員



1. 福祉の充実がまちを豊かにする成長戦略について

❶ 福祉は特定分野ではなく市政全体を支える基盤である。介護や病氣、貧困、孤立など複雑化する課題に対し、困る前に気づき支える仕組みが重要であり、子育てや介護を支えることで雇用や地域経済にもつながる「将来への投資」として、防災や交通、DXなど各分野へ広げることが必要だと考えるが、どうお考えか。

Ⓐ 福祉は市政全体の共通基盤であり、「誰一人取り残さない市政運営」を進めてきた。相談体制の充実や環境整備、外出支援などを進め、分野横断で関係機関と連携しながら対応するとともに、生活上の課題の早期把握にも努め、市民が安心して暮らせるまちづくりに挑戦し続ける。

💡 福祉を基盤とする考えが共有されたことに安心と期待を感じた。経済は安心して働き暮らせる環境に支えられており、福祉はまちの力となる基盤である。今後の一層の推進を期待する。

ほり た
堀田 あけみ 議員



1. 金津創作の森の今後について

❶ 大規模改修し、リニューアルによる魅力アップを考えるべきかと思うがどうか。

Ⓐ 大規模改修及びリニューアルについては、利用状況や財政状況を総合的に勘案し、市民の声もしっかり聞いたうえで、長期的な視点で慎重に検討を進めてまいりたい。市内での創作の森への関心向上を図るため、市民ボランティアとの共同制作や、ソフト事業を充実させるとともに、SNS等による情報発信の強化など、市民にとってより身近で親しみのある施設となるよう努めてまいりたい。

2. 少子化対策について

❶ 少子化対策を含め、人口減少を前提とした政策についてはどう考えているか。

Ⓐ 人口減少を前提とした将来設計を明確にした上で、各種施策を推進している。第3次総合振興計画は、将来人口が減少していくことを前提としており、人口減少社会に適応するための取組を、盛り込んだ内容となっている。具体的には、人口規模の縮小を見据えた、持続可能な都市経営を進めて参りたい。まちの活力を作り出す関係人口や交流人口の増加も重要と考えている。

み さわ ゆう ぞう
見澤 勇三 議員



1. クマによる人身被害防止のための「緊急銃猟」について

❶ 緩衝地帯を設けるゾーニング管理の考え方について

Ⓐ 緩衝地域での計画的な捕獲や獣害防止も兼ねた数の刈り払いなどを進めてまいりたい。

❶ 緊急銃猟を行使する上での権限委任者について

Ⓐ 権限を部長に委譲し、現場での指揮、実施の命令を出す事としている。

❶ マニュアル作成について

Ⓐ マニュアルはすでに制定を終えており、猟友会や警察など関係団体と情報共有している。

❶ 緊急銃猟の訓練と住民避難への周知について

Ⓐ 県が主催する合同訓練地にあわら市を候補地として実施する事を要請し、市内で訓練したいと考えている。周知については、HPや広報などへの掲載を考えている。

❶ AIカメラの設置場所と、ドローンの実用化に向けた取り組みについて

Ⓐ AIカメラは学校周辺などのいち早い出没情報が必要な箇所での活用を検討している。

❶ 猟友会への委託料及び、ハンターへの補償内容について

Ⓐ 緊急銃猟や有害鳥獣捕獲に際しての委託料については、他市町と比較しても遜色はない。また、緊急銃猟に備えて損害賠償保険に加入することを予定している。

いえ がみ まさ ゆき
家上 雅之 議員



1. 行政連絡員及び公民館長の報酬見直しについて

❶ 行政連絡員(区長)の仕事は多岐に渡り、情報量・災害時の初期対応また少子高齢化によるなり手不足で何年も行政連絡員をしなければならぬ区もある。この事は、公民館長にも当てはまる。地域コミュニティーの促進等、仕事は多岐に渡る。国全体が賃上げを行っていく中で、当時と変わらぬ報酬では充実した活動が出来ないと感じるがどうか。

Ⓐ 行政連絡員報酬は、均等割(1自治会6万円)と世帯割を組み合わせた制度で、県内他市と比べても均等割・世帯割ともに高水準にあり、特に小規模自治会への報酬は最も高い状況である。報酬は決して低くないことから、担い手不足への対応としては報酬増額よりも、電子回覧板の導入などDX活用や配布物の簡素化による業務負担軽減を優先して進めていく。公民館長の報酬体系については、業務実態に見合っていない面があると認識しており、今後は業務内容の分析や他市町の状況を踏まえ、報酬および勤務体系の見直しを検討していく。

あお やぎ あつ し
青柳 篤始 議員



1. 人と地域をどう育てるか―拠点という形からどう再設計していくのか

❶ コミュニティセンター構想による人材育成と地域拠点整備について。

Ⓐ 地域の担い手育成は重要な課題であり、若者の活動支援や活動拠点のあり方について、今後、ニーズ調査を行いながら検討していく。あわせて、公民館の果たす役割を踏まえつつ、若い世代の参画促進や地域とのつながりを深める取組が必要である。

💡 地域を育てるまちへ

公民館をどうするかではなく、あわら市をどう育てるか。地域で考え、挑戦し、支え合える力を育てていくことが、人口減少時代を乗り越えるために求められている。民間との協力の下、地域福祉と地域活性化を厳しい状況の中でも着実に進めつつ、モデルとなる拠点づくりや仕組みの検討を進め、持続可能な地域づくりと次世代の担い手育成に加え、地域内での支え合いや新たな挑戦が生まれる環境づくりに向けた具体的な提案を引き続き現場の声を大切にしながら取り組んでまいりたい。

の ざわ ゆ き
野沢 裕希 議員



1. 市民参画、高齢者福祉、そして国が進める第2のふるさとづくりを踏まえた関係人口戦略について

❶ 市民アンケートで「意見が市政に反映されている」との評価が低下している。政策形成の初期から市民が関与できる仕組みが必要では。

Ⓐ 制度を大きく再設計するより、既存の取組の質を高め、「参加してよかった」など市民が実感できる機会を積み重ねることが重要である。課題を整理し必要な修正については対応していく。

❶ 高齢者福祉の目標である「自立」の定義明確化と、データ分析を活用したフレイル対策についての考えは。

Ⓐ 次期計画では「自立」を身体・社会・精神の3側面から定義し、フレイルチェック等の数値を目標に設定できないか検討する。県のデータ分析も活用していく。

❶ 関係人口の創出について、目標設定や推進体制をどうしていくのか。

Ⓐ 国の「ふるさと住民登録制度」モデル事業に参加意向を示したところである。この国の制度を活用して関係人口、さらには将来的な定住者や担い手の創出に積極的に取り組んでまいりたい。



各議員の名前横に掲載しているQRコードを読み取っていただくと動画をご覧いただけます。また、増量版は右のQRからご覧ください(希望議員のみ)。



一般質問では、議員が市政の課題や方針について質問し、まちをより良くするための提案を行います。

Q…議員の質問 A…市側の回答 🗨️…最後に一言

みなみ りょう いち
南 良一 議員



1. あわら市におけるインフラ整備の中長期的な計画について

Q インフラ整備(道路整備、上下水道、橋梁等)に関して、現状の問題と課題そして今後の具体的な整備計画について。

A 本市の社会インフラは高度成長期に整備されたものが多く、老朽化と更新時期の集中が課題である。気候変動による災害リスクにも対応しつつ、道路・橋梁・上下水道を計画的に点検・更新している。厳しい財政状況の中、補助金や起債を活用し、持続可能な整備を進めていく。

2. 竹田川沿いの整備と賑わいの創出について

Q 周遊エリア整備を発端に、竹田川を通した夢をつないでいくまちづくりについて。

A 竹田川を軸とした周遊エリアでは、まちづくり団体が水辺の保全や体験型イベントを通じて賑わい創出に取り組んでいる。引き続き、補助制度などの財政的支援を通じて、有志団体による主体的な取組を後押ししていく。あわせて、来年度には、市内でまちづくり活動に取り組む団体や市民を対象に、講座や相談会を実施する予定である。さらに、外部の専門的な知見の活用についても、国の制度や支援メニューの動向を注視しつつ、有志団体の活動状況に応じて検討していく。

きた うら ひろ のり
北浦 博憲 議員



1. 全天候型遊戯施設「吉崎あそぼっさ」との共存について

Q 一般社団法人蓮如の里吉崎では、令和4年にクラウドファンディングを実施し、休校6年間の校舎の清掃、整備、幼稚園トイレなど施設の改修、遊具の導入を行っている。「あそぼっさ」は、子育てなど公共性の高いサービスを提供し市が行うべき子育て支援事業の一端を担っている。その機能維持のため、市は何らかの支援ができないのか。

A 市は地域主体の取組を評価し休校施設の目的外使用許可を行い、地域活性化の観点から毎年80万円の休校利活用補助を行っている。「あそぼっさ」の機能維持支援となると、この80万円の増額の議論になる。引き続き休校利活用3団体間のバランスを踏まえ運営状況や利用実績、地域への波及効果を検証し、運営法人の皆さまとの意見交換を重ね、次年度以降の支援の在り方を検討していきたい。

なか じま みず き
中嶋 瑞希 議員



1. 保幼小接続の取組を踏まえた、市としてのカリキュラムマネジメント体制の構築について

Q 5歳児から小学校1年までの架け橋期のカリキュラムは、実践・評価・改善まで機能しているのか。

A 校区ごとにこども園と小学校で、福井県が示す「構想シート」を活用してカリキュラムを作成し、6~8月の教員による園訪問、2月の関係者間での振り返りを通じて、計画・実践・評価・改善のPDCAを継続している。

Q 教育委員会はこども園と学校をどう支援しているのか。

A 教育委員会主催の研修会などで、子どもの発達段階や指導のあり方について、子どもの姿を真ん中に置いた指導助言を行い、こども園と小学校との間で、共通理解を深めている。

Q 2030年の学習指導要領改訂を見据えた方向性は。

A 保幼小接続で培った学びの連続性や振り返りの仕組みを、小中高の接続や市全体の教育課程編成にも広げ、教育委員会が方向性を示しながら、各校の特色ある教育課程づくりにつなげていく。

なか が いち か
中垣内 えり香 議員



1. 太陽光パネルについて

Q 太陽光パネルの製造から廃棄までのライフサイクルの観点や災害時の感電火災リスクへの認識を伺う。また、放置パネルの管理をどう位置づけていくか。

A 日本の発電割合の7割を占める火力発電と比較した場合、CO2の排出量は大幅に低いものであると考えられる。景観条例等で設置計画を確認し、災害時は避難所開設時の安全確保の徹底と、放置等の危険時には、条例に基づき市が所有者に代わって緊急安全措置を行う。

2. 外国人急増に伴う社会的コストの把握と市民の安心を守る施策について

Q 急増に伴う行政コストや国民健康保険料の納付状況、生活ルールの徹底はしているのか。

A 現在、国保徴収率は日本人と同水準である。企業による生活指導もあり、大きなトラブルはない。市としては、受け入れ企業との連携強化、生活ルールの周知、防災・ごみ出し等に関する多言語案内、学校現場の日本語指導体制の整備、医療・福祉分野での必要な支援など、段階的で実効性のある施策を進めている。

🗨️ 脱炭素は国際情勢を注視し、市民の実益を考えていただき、外国人施策も「今は大丈夫」と過小評価しない方策をお願いしたい。

み かみ ひろ あき
三上 寛了 議員



1. 市政情報の公開と周知及び市民コンセンサスについて

Q どのようなまちを作っていくかというような情報を、広報あわら及びSNSにおいて、予算規模やタイミングを意識して積極的に発信する考えはあるか。

A 市民の関心が高い事業や予算規模の大きい事業について、基本構想の決定時点やパースなどのイメージ図をお示しできる段階など、適切な時期を見極めながら、発信のタイミングをこれまで以上に意識して取り組んでいく。また、紙面の制約がある場合には、LINEやインスタグラムで要点を簡潔にお知らせし、詳細はホームページで確認いただくといった役割分担を活用し、即時性のある情報提供を進めていく。

Q 今後の市政において、市民への周知を促進し、コンセンサスを取ることの重要性についてどう考えるか。

A ふれあいトークやワークショップなど市民の声を聞く機会の充実を図り、大きなイベントやハード整備における市民アンケートの実施や、検討委員会、審議会などへの市民参画機会の充実などにより、市民の声を着実に市政に反映していきたいと考えている。

せき やま こう じん
関山 耕人 議員



1. 少子化対策と人口減少への戦略的対応と政策検証について

Q 人口が26,000人を切る中、令和7年の出生数は？

A 令和7年の出生数は109人。減少は極めて重く受け止めており、将来の地域社会の担い手や地域活力への影響を懸念している。

Q 少子化対策の優先順位は？

A 客観的データと政策効果の検証を基準とし、優先的に取り組む施策を検討している。

Q 少子化に対する施策の効果検証の考え方は？

A 少子化は多くの要因が複合的に影響する課題であり、個別事業ごとに出生数への効果を推計することは困難であると考えている。しかし、深刻な課題であるからこそ、基本施策のKPIの達成状況に基づき政策効果の評価を行うことで、中長期的に人口目標の達成を目指すべきと考えている。

🗨️ 本市の子育て支援策は他自治体に劣るものではありませんが、市民の実感との乖離も見られる。地域に誇りを持てるまちづくりに向け、議会としても引き続き課題を深掘りしていく。

令和8年3月 定例会を開催しました

3月2日から18日間にわたって、3月定例会が開催されました。定例会では、令和7年度補正予算、令和8年度当初予算に加え条例の制定や委員の選任など議案41件、陳情1件を審議。3月4日、5日には12人の議員が一般質問を行いました。

3月2日の本会議では、令和7年度補正予算2議案と副市長の選任など人事案件12議案が採決の結果、すべての議案が可決されました。また、3月19日の本会議では、各常任委員会での審査結果が報告され、採決の結果、すべての議案が可決されました。

なお、陳情1件(「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書)は、趣旨採択となりました。

※趣旨採択とは、意見書の採択までは出来ないが、趣旨には賛同できるという採決方法

3月定例会の流れ

3.2 ▶ 3.19

月 日	会議名・会議内容
3 / 2 (月)	本会議 予算決算常任委員会
3 / 4 (水)	本会議 (一般質問)
3 / 5 (木)	本会議 (一般質問)
3 / 9 (月)	総務厚生常任委員会 (議案審査)
3 / 10 (火)	総務厚生常任委員会 (議案審査)
3 / 11 (水)	産業建設教育常任委員会 (議案審査)
3 / 12 (木)	産業建設教育常任委員会 (議案審査)
3 / 13 (金)	産業建設教育常任委員会 (議案審査)
3 / 16 (月)	総務厚生常任委員会 (議案審査) 産業建設教育常任委員会 (議案審査)
3 / 18 (水)	予算決算常任委員会
3 / 19 (木)	本会議 (採決等)



令和7年度 一般会計補正予算 (第7・8・9・10号) 承認・成立

総額 **23億5,223万円**を増額!!

一般会計の予算総額は206億6,337万9千円となりました。主な歳出予算は、物価高騰に対する支援として生活支援商品券発行事業、防災資機材整備事業、除雪作業委託料、小中学校証明LED化工事などが計上されています。

令和8年度 当初予算成立

一般会計をはじめ、特別会計、企業会計などの総額は278億5,793万4千円となりました。当初予算は、「子どもから高齢者まで住み続けたいまちづくり」「魅力と活気にあふれるまちづくり」「安全・安心の持続可能なまちづくり」「新幹線効果を持続させるまちづくり」の4つのテーマに基づき、市民が豊かに暮らせるまちづくりのための予算が計上されています。

令和8年度
一般会計
当初予算

198億3千万円

令和8年1月に市長選挙が行われたため、「骨格予算」を基本としていますが、令和7年度補正予算で翌年度支払いを定めた子どもの遊び場整備事業費約8億8,700万円や、ふるさと納税寄付金を当初予算で17億円見込んで計上したことなどにより、令和7年度当初予算と比べ24億円増加となりました。

スポーツ施設の
指定管理事業
2,597万3千円

国影グラウンドをはじめ市内スポーツ10施設の管理運営を、令和8年度から5年間にわたり、あわらトリムクラブへ指定管理することになりました。

議員からは、人材の固定化や人事に関して定年制の導入などの対策を講じるよう意見がありました。

本荘小学校
改修事業
2億2千万円

老朽化対策と環境改善を図るため、令和10年度までの3年間で大規模改修工事を行います。

令和8年度は、管理棟の改修工事費として2億2千万円が計上されました。

令和10年度までの総事業費は7億3,735万2千円を予定しています。体育館についても、令和10年度に改修工事を予定しています。

ふるさと納税返礼品
開発等支援補助金
1億円

ふるさと納税による寄付をさらに進めるため、返礼品の開発や増産等に要する経費を事業者へ補助します。

この制度は、ふるさと納税3.0と呼ばれ、クラウドファンディングで集めた寄付額の4割を限度として補助金として交付するもので、令和7年度から開始して2年目となりますが、昨年度は11事業者へ9,092万9千円の補助金が交付されました。

条例等常任委員会審議

小中学校施設の利用に関する

条例の一部を改正する条例

質問 体育館の利用者が空調使用の有無を選択でき、反面だけの利用もできるのか。

答弁 空調使用の有無は選択できるが、全面での使用に限る。

犯罪被害者等支援条例

質問 遺族見舞金の支給対象者の順位や支給方法はどうか。

答弁 遺族の中から1名に支給し、戸籍等で確認し、警察とも情報共有して支給決定する。

令和7年度補正予算常任委員会質疑

松くい虫被害総合対策事業

補正予算額 △89万5千円

質問 被害が少ないための減額ということか。

答弁 被害の状態は現地を視て確認して判断しており、想定より被害が少なかったため減額した。

なりわい再建上乘せ支援金

補正予算額 △836万5千円

質問 これまでの支出実績と今回予算を減額した理由は何か。

答弁 令和6年度は約3,300万円、令和7年度は約1,663万円を支出しており、実績を精査した結果、不用額を減額した。

あわら市上水道事業会計

質問 市の上水道事業会計全体について、市の一般会計からの補てんがなければ、実質赤字ということか。

答弁 市の一般会計から高料金対策補助金を受けているので、実質的には収入不足である。

休校利活用事業

補正予算額 △794万1千円

質問 地域おこし協力隊の募集が見送られた理由は何か。

答弁 地域の将来像や活用の方向性について、地域と協議を重ねてきたが、方向性を明確に出来ず、地区側の判断により見送った。

ふるさとあわらサポート基金事業

補正予算額 △6,783万円

質問 ふるさと納税返礼品の先行予約において、実際に提供出来ない場合の対応はどうしているのか。

答弁 天候等の理由で返礼品の提供が難しい場合は、代替品への変更で対応している。

後期高齢者システム改修費

補正予算額 160万1千円

質問 子ども子育て支援金の徴収方法はどうか。

答弁 加入している医療保険の保険料に上乗せする形で、公的医療保険料と一括して徴収されることになっている。

議案第2号 令和7年度 あわら市一般会計補正予算における討論



賛成討論

…物価高騰が続く中、本事業は全世代に支援が行き届く取り組みとして評価します。市民生活の下支えと地域経済の循環につながることを期待します。一方で、今後は社会のキャッシュレス化の進展や他自治体の事例を踏まえ、デジタル方式の採用も含めた可能性や紙との併用によるハイブリッド方式について、市のDX推進の観点からも有意義であり、より積極的な検討が進むことを期待します。

島田 俊哉 議員



反対討論

…物価高対策として提案された商品券事業について、支援自体には賛成だが、初めて示された事業内容を十分な議論なく判断する進め方には課題があり反対である。約2億5千万円の事業費のうち、約2千4百万円が事務費であり、3ヶ月で終わる一時的な支援にとどまることから、市民の税金の使い方として、他に効果的かつ持続的な支援策をさらに慎重に検討する必要がある。

野沢 裕希 議員

議案第9号 令和8年度 あわら市一般会計予算における討論



反対討論

…観光まちづくり推進事業について、温泉街活性化や社会実験自体には賛成だが、事業の進め方に懸念がある。行政とコンサル主導のトップダウン型であることに加え、令和7年度に実施した社会実験の検証が不十分なまま、再度3,800万円で社会実験をしても、十分な費用対効果は見込めないと考える。一度立ち止まり、準備期間を設けた上で実施すべきではないか。今後の事業推進でも、より市民主体のプロセスを確保するよう是正を求める。

関山 耕人 議員

令和8年度当初予算常任委員会質疑

観光まちづくり推進事業

予算額 3,897万4千円

質問 今後の地元との連携体制はどう進めていくのか。

答弁 行政が全面に出た反省を踏まえ、今後は地元の事業者、市民、観光協会、行政が一体となるような協力体制や組織体制の構築を進めていく。

竹田川周遊エリア整備事業

予算額 5,720万円

質問 周辺道路の舗装化や公園整備による賑わい創出の考え方はどうか。

答弁 新幹線駅から駅前児童公園までの動線をカラー舗装し、来訪者を竹田川沿いの風景を楽しめる拠点としたい。

図書館事業

予算額 794万6千円

質問 物価高騰により図書の高上がりの中、市民からの本のリクエストをどのように吸い上げているのか。

答弁 インターネットや窓口で常時リクエストを受け付けており、購入や提携図書館からの取り寄せにより柔軟に対応している。

Aー水道管路劣化診断業務

予算額 1,588万4千円

質問 導入後のシステムのランニングコストはどうか。

答弁 この業務は、診断業務を委託して水道管の劣化状況を把握し、更新の優先順位を決めるための費用であるので、導入後のランニングコストが発生するものではない。

防犯カメラ設置事業補助金

予算額 60万円

質問 事業の目的や設置予定はどうか。

答弁 犯罪抑止と目的として地域の防犯力向上を図ることを目的に、令和8年度は6地区での設置が予定されている。

福井ふるさと茶屋整備支援事業補助金

予算額 1,090万円

質問 事業内容や継続性、事業主体の体制はどうか。

答弁 金津まちなか創成会が事業主体となり、地域住民の交流やまち歩き拠点として整備するもので、事業の継続性や運営体制を確認しながら進めていく。

子どもの遊び場整備事業

予算額 1,270万円

質問 備品購入費に含まれるおもちゃ遊具はどのように決定したのか。

答弁 基本計画策定段階で市民の要望は聞いており、今後もアンケートの実施も含めた市民の要望を聞いて決定していきたい。

あわらし市国民健康保険特別会計

質問 国民健康保険税について、県内保険料水準の統一はどうか。

答弁 令和12年度の県内統一に向けて現在調整を進めている。

委員会の詳しい内容は、下記QRコードから動画の再生リストをご覧ください



YouTube

議案の結果



採決結果一覧

賛成 = ○ 反対 = × 欠席 = 欠

※議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。

採決で賛否が分かれた議案のみを掲載しています。

これ以外の議案等は賛成全員で可決しています。詳しくはQRコードからご覧ください。

全ての議案一覧はコチラから



第130回 あわらし市議会定例会	議案番号	議案内容	議決結果	表決		中嶋瑞希	関山耕人	中垣内えり香	野沢裕希	家上雅之	南良一	見澤勇三	三上寛了	青柳篤始	島田俊哉	北浦博憲	堀田あけみ	室谷陽一郎	笹原幸信	北島登	卯目ひろみ
				賛成	反対																
2	令和7年度 あわらし市一般会計補正予算 (第8号)	可決	14	1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
9	令和8年度 あわらし市一般会計予算	可決	14	1	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
27	あわらし市副市長の選任について	可決	14	1	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○

2の討論

9の討論

あわら市議会

議員と語ろう会

見て、考えて、話す。
議会を身近に感じる1日。



日時

2026.05.31 (日)

10:00~16:40



場所

芦原温泉駅 アフレア



参加

誰でも参加できます
申込不要

みなさんの
声を、あわら市の
未来につなげます!



各委員会発表 13:00~15:30



総務厚生常任委員会

暮らしを守り、市政を支える。
福祉・防災・財政など幅広い分野を
担当しています。



産業建設教育常任委員会

産業・観光・建設・教育など、
地域の元気を支える分野を
担当しています。



人口減少対策特別委員会

人口減少や少子高齢化に向き合い、
住み続けられるまちづくりを考える
取組を進めています。



防災・減災対策特別委員会

災害に備え、命と暮らしを守るため、
防災・減災に関する取組を
進めています。



議会運営委員会

議会の円滑な運営やルールづくりを通じて、開かれた議会を目指しています。

1日の流れ

10:00~

- ・ 模擬投票体験
- ・ 市政アイデアボード
- ・ 委員会紹介ボード
- ・ 議員紹介ボード



13:00~15:30

- ・ 各委員会発表



15:30~16:40

- ・ 議員と語ろう会



主催：あわら市議会

